

滝川農業塾について

設立に至る経過

滝川市では、将来の本市農業を支える多様な担い手の育成・確保が重要であることから、農業後継者の育成、新規就農者の確保、農業生産法人の育成を推進しており、このうち、農業後継者の育成の取組として平成24年度に「滝川農業塾」を設立。（事業実施主体は滝川市農業再生協議会担い手育成部会）

滝川農業塾の目的

農業経営の基礎となる生産技術や経営管理技術の習得や企画・計画・知識力等の向上を図るための先進的農家による実践研修、異業種との交流によるネットワークづくりなどの研修を通じて、意欲にあふれ能力の高い優れた担い手を育成・確保することを目的とする。

対象者

概ね40歳未満で農業経験5年未満の農業後継者等

事業予算

2,000千円（滝川市補助金）

カリキュラム

- 基礎研修（北海道立農業大学校や花・野菜技術センターによる研修を活用）
 - 道立農業大学校 一般研修、農業機械研修等
 - 花・野菜技術センター 専門技術研修（花き栽培、野菜栽培、土壌肥料、病害虫）等
 - ステップアップ研修
 - 先進農家研修 先進的農業者を招へいした座学
 - 異業種交流 農業以外の幅広い分野の取組を研修
 - 農政研修 関係機関・団体による研修・意見交換
 - 先進地研修 道内外の先駆的農家・法人等の生産現場の視察研修
- 以上のカリキュラムを選択し、2年間研修を行う。

入塾状況

第1期生（平成24年度入塾）	6名（研修修了）
第2期生（平成25年度入塾）	5名（研修修了）
第3期生（平成26年度入塾）	3名（研修修了）
第4期生（平成27年度入塾）	4名（研修修了）
第5期生（平成28年度入塾）	3名（研修修了）
第6期生（平成29年度入塾）	6名（研修修了）
第7期生（平成30年度入塾）	3名
第8期生（令和元年度入塾）	2名